



花と太陽と風

小千谷市立千田小学校
学校だより 第200号
平成30年5月7日
2018-2



～もうすぐ運動会 お待ちしています！！～

5月19日（土）に大運動会を予定しています。4月末には応援リーダーを選出し、5月1日には結団式を終え、子ども達の気持ちも「運動会モード」に、一気に切り替わってきました。今日も学年種目の練習や応援の練習に、みんな元気に取り組んでいます。

♪ 八海山の神主が～、おみくじ引いて申すには～# と、「花咲か爺さんの歌」のメロディに合わせて、元気な歌声が聞こえてきます。保護者の皆さんも「少し違った歌詞で歌ったぞ！」「同じような応援歌を運動会で歌ったよ！」という方が多いのではないのでしょうか。私も小学生のころに歌いました。しかも、この歌は新潟県に限らず、全国のあちこちで歌われています。（群馬県でも栃木県でも、福岡県でも歌っています。）いったい、なぜなのでしょう。私もずっと気になっていたのですが、数年前、何気なしに聞いていたラジオ番組で、作家の故・永 六輔 さんが「調べた結果、ここまで分かりました。」と、「調査結果」を話していたのを聞きました。

- ① 100年くらい前の広島県内では、既に歌われていた。
- ② 全国中等学校野球大会（今の全国高校野球大会）が“普及”に一役かっている。

というのです。私も調べてみました。

- ① 花咲か爺さんの歌：初出1901年「幼年唱歌 初編 下巻」 石坂和三郎作詞 田村虎蔵作曲
- ② 戦前、広島商業学校、広陵中学校などの広島県代表が甲子園球場（予選でも）で歌っていた。
- ③ 広島商業高校の生徒手帳には校歌と並んで、「宮島さんの～」という歌詞が載っているらしい。
- ④ 広島県内では古くから歌われている。広島工専が最初に歌ったらしく、対戦することが多かった広島師範学校でも歌われるようになった。広島師範の卒業生が広島県内の各校に赴任し、広島県内で広く歌われるようになったらしい。（今でも、広島県民のほとんどは歌える。）
- ⑤ そして、甲子園球場で広島県代表と試合をした各県代表校の応援団が「これはいい！！」と、各地にこの応援歌をもち返り、「宮島さん（安芸の宮島＝厳島神社）」の部分で各地の神社や山の名前などに置き換えて（一部歌詞を変えて）歌うようになった。

夏の高校野球大会が始まったのが1915年ですから、歴史的、時間的にびたりとあてはまります。そして、千田小学校では「八海山（＝八海山尊神社）の神主が」と歌い始めますが、隣接の川口小学校では「川合神社」、長岡市内では「八幡様」や「高龍神社」で歌い始める学校があります。調べた結果とも一致しています。最近プロ野球・広島カープの応援団が、カープが得点すると「♪ 宮島さんの～」と歌って応援しているところが全国中継されていますから、これからも各地で普及、定着がいっそう進むことでしょう。（カープ応援歌「宮島さん」と名付けられているそうです。）

運動会も「文化伝承の場」。100年の伝統をもつ歌（文化）が、親、子、孫と引き継がれています。競技、演技に力を発揮し、「100年の歴史」を引き継いで歌う元気な千田小学校の子どもたちを、グラウンドでぜひ応援してください。お待ちしております。（校長：目黒栄一）